

大槌町教育委員会だより



育てよう魅力の花

吉里吉里学園は、小学部・中学部それぞれの教育目標があり、学園として共通する目指す子どもの姿を掲げています。地域に根差した教育活動を実施しながら小中一貫教育を推進しています。

吉里吉里学園

小学部

教育目標：自立する子ども

自立するためには、様々な力が必要です。「確かな学力」「豊かな人間性」「健康な心と体」「未来に生きる郷土愛」を柱に取り組んでいきます。

その中でも郷土愛の育成のため「ふるさと科」において吉里吉里のよさに目を向け大切にしていこうとする児童、地域の郷土芸能の伝承活動、地域の産業の体験活動の学習を通して地域の一員である思いや、地域を愛する心を持つ児童の育成を目指します。心と体を鍛え困難に負けず、今こそ逞しく力強く生きる育成に取り組めます。

中学部

教育目標：自立から自律へ

9年間を貫いた教育活動を保護者・地域と共有しながら、「チーム吉里吉里」として、皆で力を合わせ、コミュニティ・スクールを実現する事業に取り組んで参りました。中学部としての取り組みの成果と課題を明らかにし、今年度取り組んで参ります。

「大槌型授業スタイル（課題のある授業）」「学び合う授業」「まとめ・振り返りのある授業」を確実に推進します。さらに ①授業における教師のファシリテートを高めるための校内研究の充実 ②連続した9年間を意識した学校評価内容の見直し ③新教育課程の実施に向けた英語教育 ④情報モラル教育の実践に取り組めます。

目指す子どもの姿

① 確かな学力

基礎・基本的な知識や技能を習得し、目標を持って学習に取り組める子

② 豊かな人間性

一人ひとりのよさを認め合い、集団の中で力を発揮できる子

③ 健康な心と身体

すすんで運動に取り組む子
健康的な生活ができる子
(早寝・早起き・朝ご飯)

④ 未来に生きる郷土愛

吉里吉里のよさを知り
地域に貢献できる子

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民のみなさまにお伝えします！

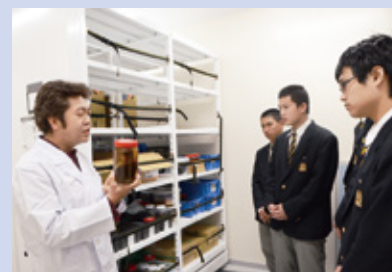


大槌高校
ホームページでも
行事の様子を
発信しています！

大槌の海を学ぶ「はま研究会」が発足！

今年度より大槌町の海を舞台に研究活動を行う「はま研究会」が発足し、約40名の生徒が加入しました。東京大学大気海洋研究所（以下：海洋研）の青山 潤先生と大土直哉先生にご協力いただき、研究所でのお手伝いやフィールドワークなどを通して海や川の生き物たちの生態を調べます。夏には大槌湾にやってくるウミガメのお世話をしたり、大槌湾に生息する魚を釣って図鑑で確認するなど、今後も様々な活動も展開していく予定です。

はま研究会はこんな活動をしています！



海洋研の施設見学ツアーを行いました。最新の設備や珍しい生き物に生徒たちも興味津々です。



複数のサクラマスを解剖して、海に出るのはオスとメスどちらが多いのかを調べました。



大槌湾に生息する魚たちを飼育するために使用している大きな水槽を清掃しました。



アワビの貝殻に空いているマガコの捕食痕の位置を調べ、アワビがいつどのようにマガコに食べられているのかを観察しています。

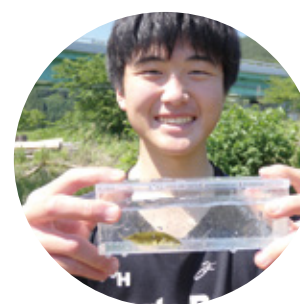


海だけでなく河川にも注目し、大槌町に生息するイトヨの生態調査や環境観察をおこなっています。



はま研究会の活動にご協力いただいている先生方です。海洋研究のスペシャリストたちと一緒に研究活動ができるのも魅力のひとつです。

大高生にインタビュー



はま研究会で活動する
2年 小國 尚人 さん

Q. はま研究会に入ろうと思ったきっかけは？

休みの日は町内の河川に行き生き物を観察するなど、自然と触れ合うことが小さい頃から好きでした。普段から見ている魚の生態などをもっと詳しく学びたいと思い、入会しました。

Q. 活動をしてみての感想を教えてください！

フィールドワークを通して大槌の自然に生息する魚を生態調査できるのが楽しいです。海洋研の先生方も優しく色々なことを教えてくださいます。研究員の皆さんは自分の気になる生き物について深く研究することで新しい発見をすることがすごいなあと思っているので、私も面白い研究ができるように引き続きがんばっていきたくです。